

# 市政に関する一般質問 6月会議は20名の議員が質問

## 通学路の環境整備について

小易和彦 議員

○ 防犯対策に対する取り組みについて伺います。

○ 昨年9月に市の関係部署、警察、学校、保護者、防犯協会などの方々と小学校区ごとに緊急合同点検を行いました。点検後取りまとめた対策案は、市内防犯団体や小中学校、PTA連絡協議会などと情報共有を行い、子どもたちの登下校時における見守り活動の強化を図ってまいります。

○ 見守りが必要な箇所のパトロールの強化として、不法投棄パトロールの際に不審人物や不審車両の確認を行うことや、児童生徒安全パトロールのコースの見直しを行いました。また、放課後児童クラブでは、登下校管理システムを活用し、不審者情報の提供などを行っています。

○ 見守りが必要な箇所のパトロールの強化として、不法投棄パトロールの際に不審人物や不審車両の確認を行うことや、児童生徒安全パトロールのコースの見直しを行いました。また、放課後児童クラブでは、登下校管理システムを活用し、不審者情報の提供などを行っています。

## 高齢者の自動車免許返納について

大野幸一 議員

○ 運転免許の返納方法や状況について伺います。

○ 運転に自信がなくなったなどの理由から、申請により運転免許証の取り消しを受ける、自主返納制度があり、県内の返納件数は、平成30年に1万9千391件と5年前に比べて約1万件増加しています。

○ 運転免許の自主返納をした場合、返納者に対して代替

○ 高齢者の交通事故防止の観点から、運転免許の自主返納に対する取り組みについて伺います。

○ 本市における運転免許の返納に対する取り組みについて伺います。

○ 高齢者の交通事故防止の観点から、運転免許の自主返納に対する取り組みについて伺います。

鈴木哲也 議員

○ 大柏川第二調節池の整備に伴う第四中学校の通学路の整備計画について伺います。

○ 大柏川第二調節池の整備の中で、市民の皆様が通行できるような施設の整備について引き続き千葉県と協議を進めてまいります。

○ 交通安全対策の取り組み



他の自治体などの取り組みや活用事例を調査研究していきたいと考えています。



## 地域包括ケアシステムの構築について

佐藤剛 議員

○ 高齢者人口の増加に伴って、地域包括支援センターを増設する予定はありますか。

○ 現時点で増設の予定はありませんが、今後の高齢化の推移等を勘案し、必要に応じてそのあり方を検討します。

○ 各地域が抱える課題を把握するための協議体の設置計画について伺います。

○ 令和2年度までに市内の6エリア全てに設置することを目標としています。現時点では、北部地区と東部地区の2地区に設置済みです。

○ 在宅医療や訪問看護など

## 不登校児童生徒の現状と今後の市の対応策について

河内一朗 議員

○ 不登校に対する今後の重点的な取り組みを伺います。

○ 新たな不登校を生まないために、未然防止と初期対応を重点的な取り組みとしています。まず、未然防止のためには、魅力ある学校を目指した取り組みが必要です。次に、

○ 初期対応のためには、早期発見と早期対応が大切です。児童生徒が安心して教職員に相談できる環境づくりが状況の改善や解決に向けての早期対応につながると思います。

○ 近隣市や全国的に取り組みの動きのある、スクールソ

## コミュニティバス「ききょう号」の現状と運行計画の見直しについて

宗川洋一 議員

○ 市民から寄せられた要望内容について伺います。

○ 南初富地区からは、商工会館から初富駅を経由し、市役所までの運行ルートの復活。東武鎌ヶ谷自治会からは、市役所や鎌ヶ谷総合病院までを最短とするルートへの変更と地区内への新たな運行ルートの追加。鎌ヶ谷グリーンハイ

○ 現状の課題や市民の要望

## 給食について

針貝和幸 議員

○ 本市の給食費の収納率は他市と比較してどのような状況か伺います。

○ 本市と近隣市で確認ができた柏市、浦安市、野田市、白井市の平成30年度の収納率を比較すると、いずれの市も本市より高い収納率です。

○ 本市の収納率が一番低い要因について伺います。

○ さまざまな要因があると考えていますが、一つとして本市の給食費の徴収は口座振替であり、指定銀行は千葉銀行

○ 前年度比で2%以上の残率削減を目標とします。

## 道路行政について

矢崎悟 議員

○ 県道市川・印西線や鎌ヶ谷・松戸線の歩道について、市民から危ないとのご意見を伺います。市の見解と今後の対応について伺います。

○ 高齢者の進展などに対応したバリアフリー型の歩道整備は、安全で快適な道づくりに向け重要であると認識しており、千葉県に歩道の点検整備の要望を行います。

○ 千葉県や警察など関係機関と連携し、信号サイクルの調整のほか、さまざま観点から交差点の安全対策に取り組んでいきます。

## 学齢期以降の「ひきこもり」問題対策について

松原美子 議員

○ 本市の相談体制、関係課や関係機関との連携体制について伺います。

○ 相談者に電話や面接での聞き取りを行い、本人の了承を得て、情報を共有するとともに、必要に応じて関係機関等と連携して医療や障がい福祉サービス、就労支援などの支援に繋がっています。

○ 特に、最近高齢化が進んでいる生きづらい方々に関わ

○ 特に、最近高齢化が進んでいる生きづらい方々に関わ